

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月29日

【評価実施概要】

事業所番号	2073300168		
法人名	NPO法人星川まちおこしの会		
事業所名	ここにこハウス		
所在地	〒381-0401 下高井郡山ノ内町大字平穏2941-19 (電話) 0269-31-1217		
評価機関名	特定非営利活動法人 長野県高齢者福祉協会		
所在地	長野県長野市南長野南県町1001-3 陽光丸ビル4階		
訪問調査日	平成20年2月15日	評価確定日	平成20年3月11日

【情報提供票より】(20年2月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 12年 7月 3日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	12 人	常勤5人(兼務1名)、非常勤6人、常勤換算6.7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	170円/日(当期加算あり)
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		830 円

(4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名
要介護1	1	要介護2	0		
要介護3	3	要介護4	1		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 86歳	最低	80歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	厚生連北信総合病院・城下医院クリニック・金山歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

温泉街の中心に生活の場を構え、ごく自然に街に溶け込んでおり、日中は縁側とかホーム前の花壇等でくつろぎの際、近隣の人たち、また、ホーム前にあるスーパーの買い物客、入浴に訪れる人との関わりが毎日のようにあり、利用者はそれぞれにその時を楽しみに過ごしている。利用者の笑顔の良さを見れば施設長以下職員が如何に理念「人として幸せに安心して生きる日々を大切に」を実践しているかが良く見て取れる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	この項目は今回が初めてで、前回の改善課題は特に無いが、今回の評価で職員の利用者への取組みが伺えるので、現状維持とより一層の充実を期待する。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の調査に対して、職員各自で自己評価を行い、それを職員会議で職員の評価の思い等の発表をし、各項目ごとに職員間の意義の統一を図っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域包括支援センター、地区の民生委員、保健師、看護師、利用者・家族の代表等で構成する、運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、施設及び利用者等の情報の報告と意見を聞き施設の在り方等の話し合いを行っており、今後の課題として取組んでいる。消防法の改正による、スプリンクラーの設置義務が出ており、当面の課題として検討しているところである。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月配布される「ここにこ通信」に施設の情報、利用者の最近の暮らしぶりや健康状態の情報、預かり金情報、利用料等を報告している。利用者家族は最低、月に1回は施設を訪れ、そこで利用者の最新情報を聞き入れている。アンケート結果からも、利用者や家族に対する施設の姿勢に対して満足している様子が伺える。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者も職員も共同浴場を使用したり、町で開催する「夏祭り、商工祭、運動会等」にも参加しており、隣組にも加入し、組費を払ってよい関係のつきあいをしている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営方針「人として幸せに安心して生きる日々を大切にする」障害や疾病を抱えながらも、その人らしく幸せに安らかな日々を普通に過ごせるを正に実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員との対話の中で、管理者はもちろんのこと職員からも運営方針がしっかりと把握し実践していることが伺えた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣組の組費も払い、町で開催する各種行事にも参加し、地元地域の人たちと交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各職員が各々自己評価を行い、思っていること等を職員会等で発表して、改善及び意義の統一を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、事業の現況報告と今後の取り組み等、意見を聞きサービスの向上に取り組んでいる</p>		<p>運営会議及び市町村と連携の中で、現在取り組んでいるのが消防法の改正でスプリンクラーの設置が義務付けされたことに対し、今後施設をどうしていくか、取り組みを行っている。</p> <p>小規模施設としては厳しいところであるが今後の動向を見守る。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村との連携を密にし、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行の「にこにこ通信」を家族宛に送付している、内容は施設での出来事、利用者の健康状態、日々の状態、預かり金の報告等している。</p> <p>また、来所の際にも書類関係も自由に閲覧できるようにしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月の利用料の支払いのため来所した際に、家族とゆっくり話し合うことを心掛け、施設に意見等があれば検討し施設運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は無く、やむを得ない理由で退職する職員もほとんど無く、利用者への影響は見受けられない。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内の研修及び施設外の研修にも多く参加していることが、復命書等で充分確認できた。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との相互訪問研修を行っており、職員全員が参加している。また、県社協主催の研修者も受け入れていて、幅広く交流していることが研修記録から伺える。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前には本人及び家族に数回来所してもらい、体験入所を試み本人が好む雰囲気と本人家族が納得してもらえるよう検討を重ねた上で利用を開始してもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人を孤立させること無く、本人との話しの中で自分から話しをしてくれるよう、その場を盛り上げるような話術で構成し、相互の信頼関係を構築している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴は家族から聴取し、台帳に記載しており、入居者の思いを日々の暮らしに反映させている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族や入居者の意向を尊重し、介護計画はケアマネージャーが作成し、全職員で更に検討し周知している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の定期（およそ2～3ヶ月）の見直しはもちろん、入居者の状況の変化に応じ見直しをしている。 担当者会議には入居者自身の出席もある。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>近くにあるデイサービスや居宅介護支援事業所等とも連携し、それぞれの機能を活かした支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームのかかりつけ医がすぐ近くにあり、家族とも協力し、対応してもらっている。また、歯科のかかりつけ医もある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族やかかりつけ医と常に話し合いを持っており、入居者の状況の変化には素早く対応できる様、職員が情報を共有している。</p>		<p>ターミナルケアをグループホームでも、取り組もうという考えを施設長はじめ職員が考えておられ、検討に入るといふ。先進的な試みとして期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>記録は決まった場所に保管しており、取り扱いには全職員が注意を払っている。職員の対応や言葉掛けはやさしく穏やかで充分配慮されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人ひとりが自分のしたい事を自分のペースで過ごし、ゆったりとした良い暮らしができている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは和食が中心で入居者にも好評である。 食事の準備は、入居者それぞれに役割があり、職員の見守りの中で楽しく行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	外湯もすぐ向かいにあり、にこにこの湯や内湯等入居者の希望、体調に合わせて楽しめる様支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりが食事の際のあいさつやお茶くみ、後片付け等それぞれ自分の役割があり、日中もお気に入りの場所で過ごしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は天候にもよるが、買い物や入浴、散歩等毎日行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各部屋に鍵は無い。 玄関も20時～翌日の6時までの施錠のみ。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域の人々との関係も隣組に入ったり、良い関係ができており、常に協力は依頼できる。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事は和食が主の食べやすいメニューであり一人ひとりの摂取量のチェックもできている。</p> <p>水分も1日1000mlを目指し、自由にお茶のお変わりもしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には大きなコタツがあり、いつでも誰でもあたる、廊下には畳が敷かれており段差も無く暖かく足の感触も心地良い。</p> <p>街の中ではあるが、不快な騒音は聞こえない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が長年馴染んできたタンスや鏡台を使用しており、それぞれの個性に合った部屋になっており、心地良く過ごせている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。